

# 取扱説明書

## うすまきオート播種機

HK-305



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



# うすまきオート播種機HK-305を お買い上げいただき、ありがとうございます。

## はじめに

- この取扱説明書はうすまき オート播種機HK-305の取扱方法と使用上の注意 事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



### 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

## 目 次

1. 安全に作業をするために	3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置	7
3. 本製品の使用目的について	7
4. 各部の名称	8
5. 仕 様	8
6. 組立要領	9 ~ 13
7. 運転及び操作	14 ~ 19
8. 土入れ作業HK-305	20 ~ 21
9. 手入れ及び保管上の注意	22
10. 故障の診断と処置	23 ~ 24
11. パーツリスト	25 ~ 39

# 1.安全に作業をするために

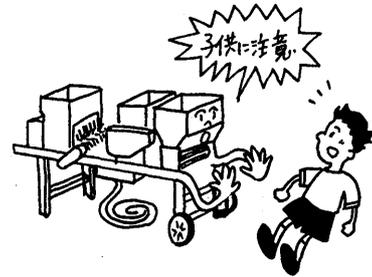
ここに記載されている注意項目を守らないと、  
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

## ▲ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



## ▲ 警告 電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや  
接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



## ▲ 警告 2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。

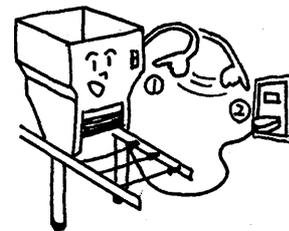


## ▲ 警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」 にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いて  
から行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故をおこします。



**▲ 注意**

**使用前に取扱説明書を必ず読む**

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

**【守らないと】**

傷害事故や機械の破損をひきおこします。



**▲ 注意**

**こんなときは作業しない**

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



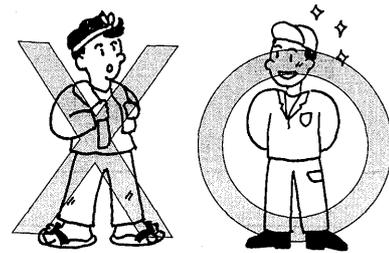
**▲ 注意**

**作業に適した服装をする**

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。  
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



**▲ 注意**

**点検・整備をおこなう**

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

**【守らないと】**

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



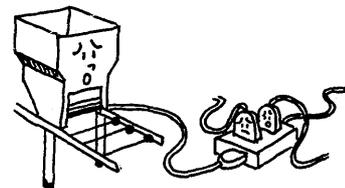
**▲ 注意**

**電源は交流100V専用コンセントに接続する**

また、タコ足配線はおやめください。

**【守らないと】**

火災事故の原因となります。



**▲ 注意**

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

【守らないと】

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

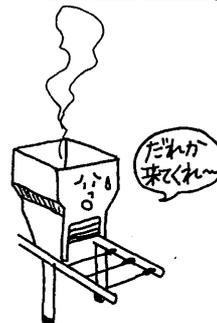


**▲ 注意**

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



**▲ 注意**

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**▲ 注意**

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



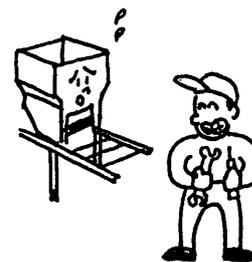
**▲ 注意**

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。改造をしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



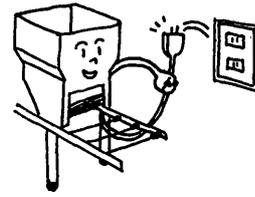
**▲ 注意**

**後始末を忘れずに**

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

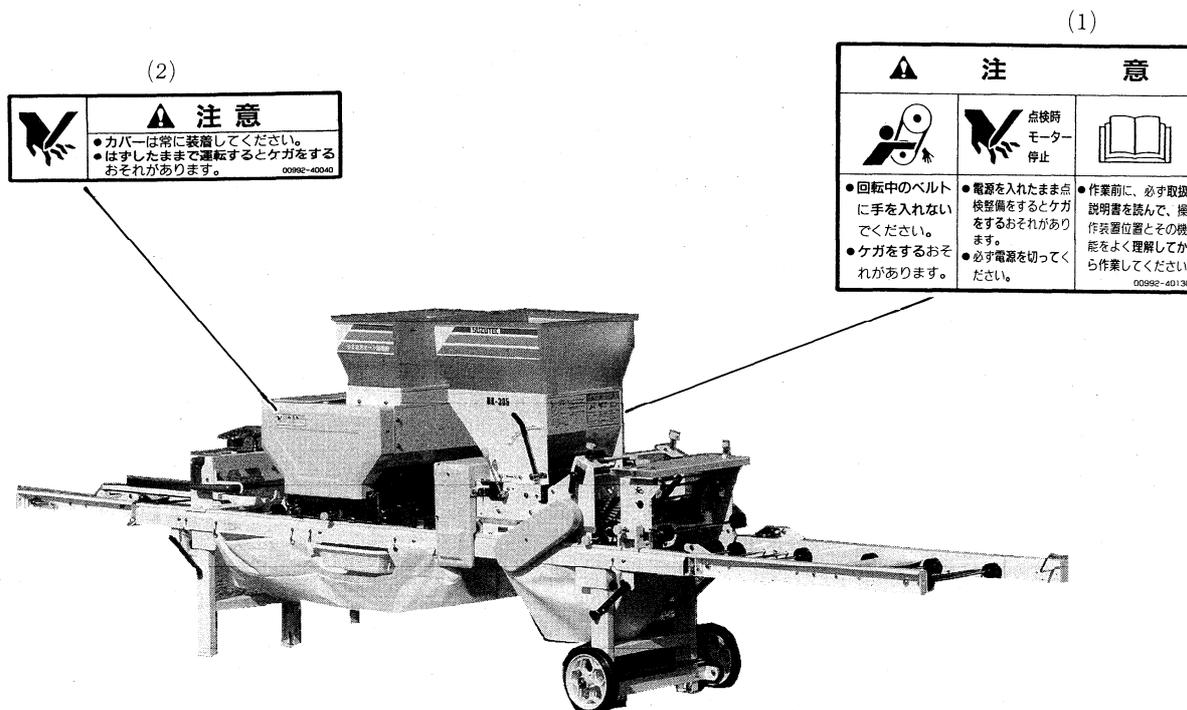
**【守らないと】**

火災事故や感電事故のおそれがあります。



## 2.安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。  
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



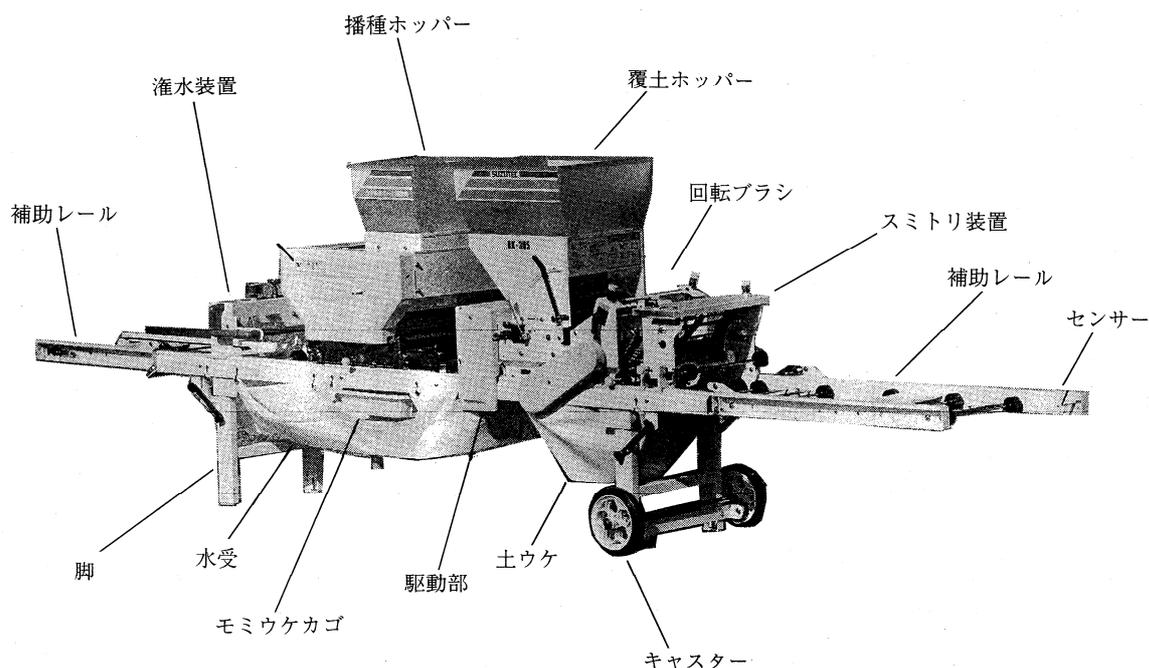
紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40130	注意ラベル CL-10
(2)	00992-40040	注意ラベル CL-3

## 3.本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱への土入れ・播種・覆土の作業機としてご使用ください。  
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

## 4. 各部の名称



## 5. 仕様

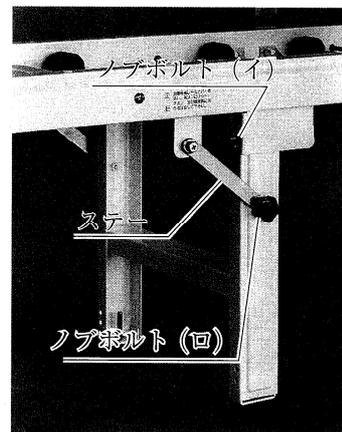
型 式		HK-305
機 体 寸 法	全 長 (mm)	3800 (格納時 2370mm)
	全 幅 (mm)	520
	全 高 (mm)	1074
重 量	(kg)	83
動 力	搬送, 覆土	40W/100V (減速比 1/36)
	播 種	40W/100V (減速比 1/36…可変速付)
ホッパー容量	播 種 (ℓ)	28
	覆 土 (ℓ)	47
灌 水 量	(ℓ/箱)	0.6~1.6
播 種 量 調 節		可変速モータにより播種ローラーの回転数を可変する。
播 種 量 (催 芽)	低 速	100cc~170cc (65g~112g)
	中 速	145cc~250cc (95g~165g)
	高 速	230cc~390cc (150g~257g)
覆 土 量	(ℓ/箱)	0.5~1.5 (3~9mm厚)
土 入 量	(ℓ/箱)	2.4~4.0 (15mm~25mm厚)
土 落 し 方 式		回転ブラシ
能 力	(箱/時)	300 (50Hz, 60Hz)

※本製品は、50Hz地区に組付てあります。60Hz地区の場合は、駆動部のスプロケットを同梱の物と交換して下さい。

# 6. 組立要領

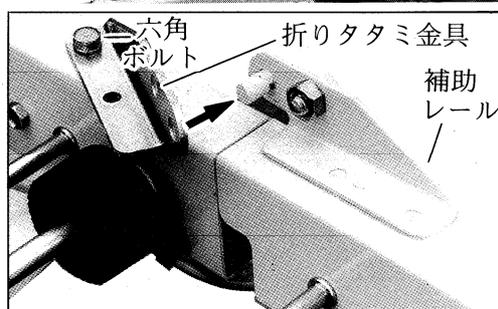
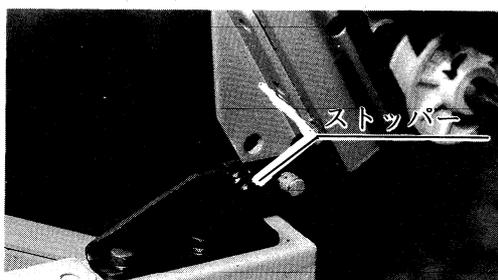
## 6・1 脚の組立

- (1) 本機に折りたたまれている脚を立てて、六角ボルト (M 6×12) にて、しっかりと固定して下さい。
- (2) ノブボルト(イ)を固定し、ステーをノブボルト(ロ)にて固定して下さい。



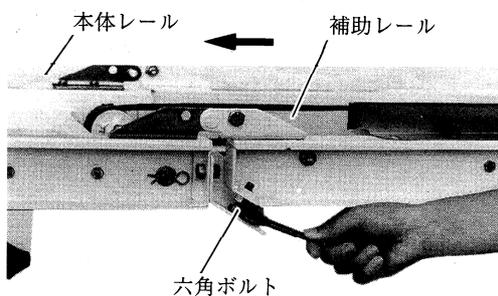
## 6・2 苗箱入口側補助レールの折りたたみ金具のストッパーの組立

苗箱入口側補助レールを折りたたんだときに、六角ナット (M 8) の六角面が折りたたみ金具に平らに接触するように、六角ボルト (M 8×12) と六角ナット (M 8) を固定して下さい。



## 6・3 補助レールの組立

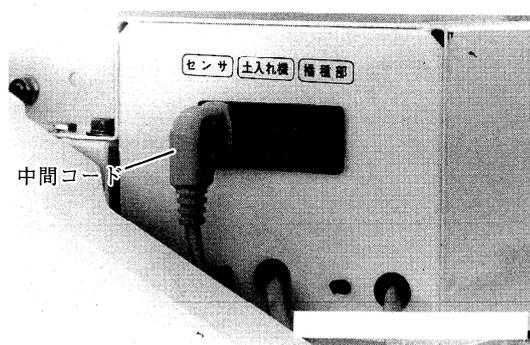
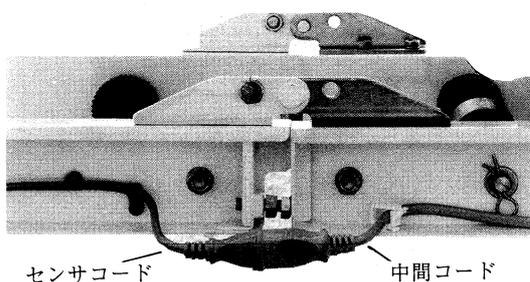
- 補助レールを連結し、折りたたみ金具を六角ボルトにてしっかりと固定して下さい。
- 本体レールと補助レールが水平になるように、六角ボルトにて調整して下さい。



## 6・4 センサコードの接続

補助レール先端にあるセンサから出ているコードプラグを、駆動部コンセントより出ている、中間コードと接続して下さい。

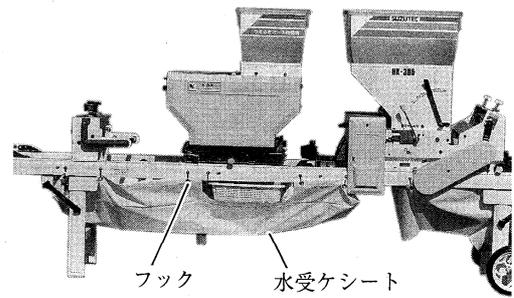
又、中間コードのプラグが駆動部コンセントの「センサ」の位置に差し込んであるか確認して下さい。



## 6・5 水受けの組立

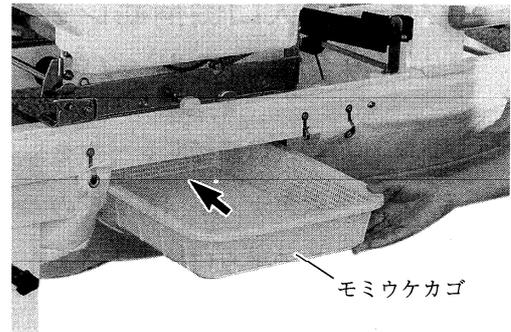
水受けに付いている穴をフックにひっかけて下さい。

又、排水ホースを取り付けて下さい。



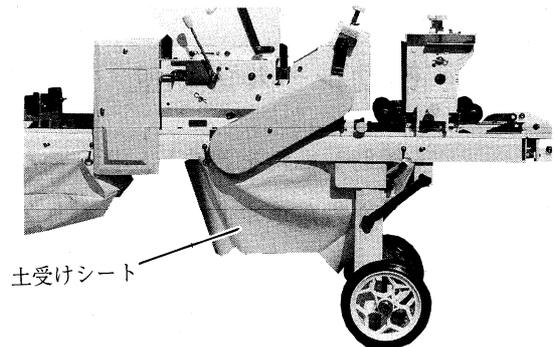
## 6・6 モミウケカゴの組立

播種ホッパーの下側にモミウケカゴをサイドから差し込んで下さい。



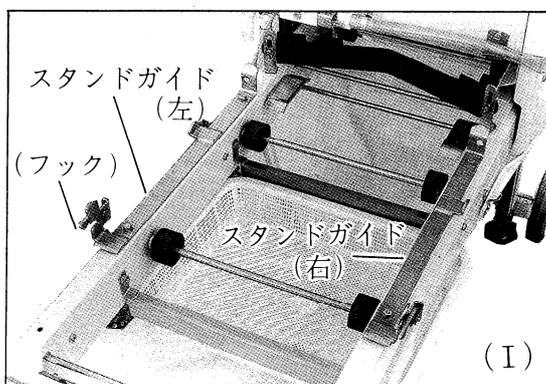
## 6・7 土受シートの組立

土受シートに付いている穴をフックに引掛けて下さい。

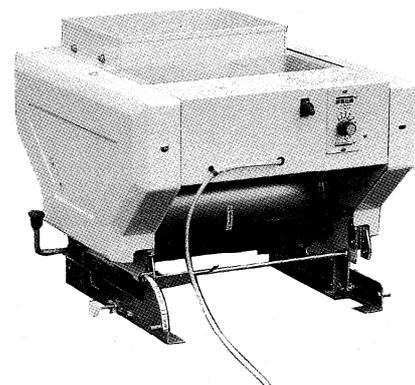


## 6・8 播種ホッパーの組立

(イ) 写真①のスタンドガイド(右)(左)の上に、写真②の播種部を乗せて下さい。



播種部

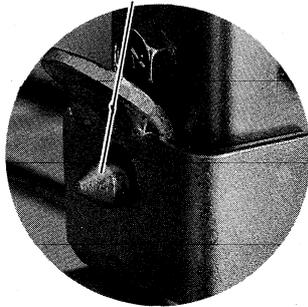


(II)

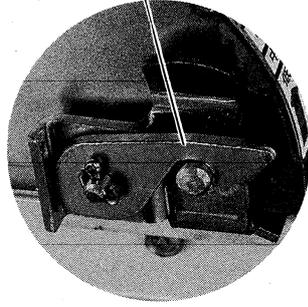
(ロ) 写真③の様セット後、矢印の方向に播種部を押して写真④の様セットして下さい。

この時、ピンが①の様に、フックが②の様になる様確実にセットして下さい。

ピンが入っている フックがかかっている



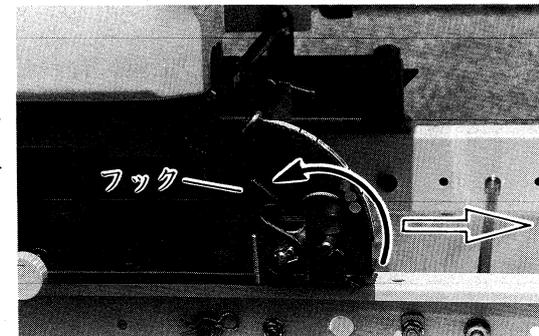
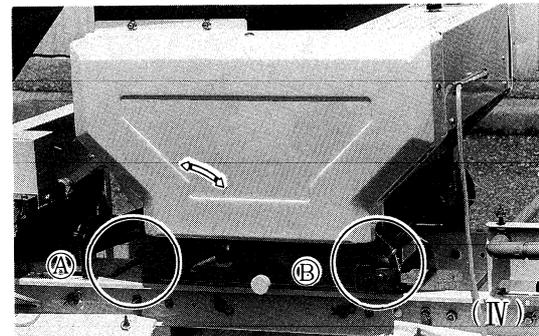
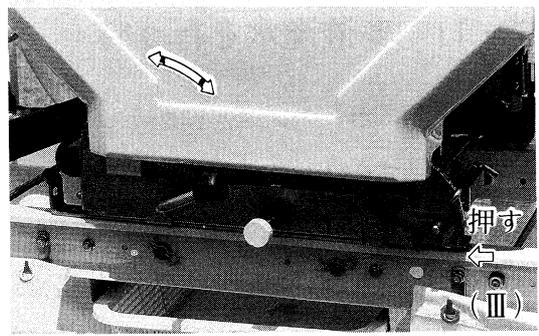
①



②

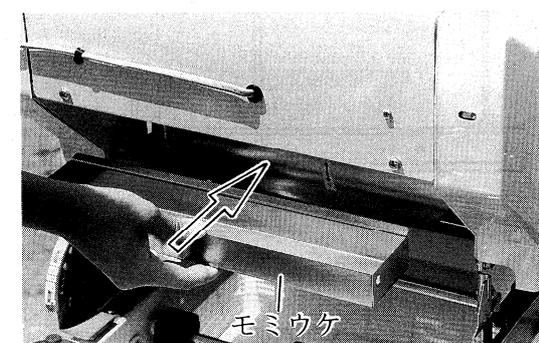
以上で播種部のセットは完了です。

(ハ) 播種部を外す場合は、写真の様にフックを解除し、セット時と反対方向⇨に引っ張ってからレール部から取り外して下さい。



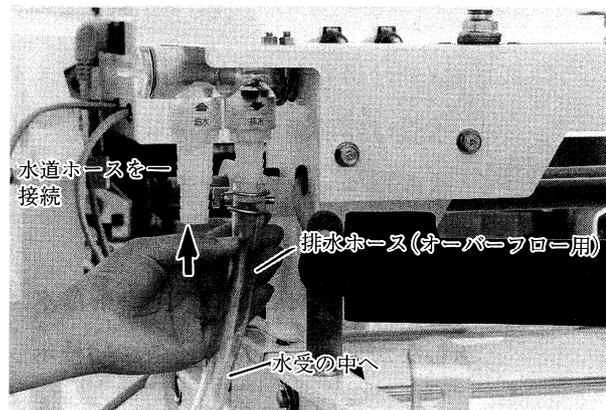
## 6・9 モミウケの組立

モミウケを写真の様にセットして下さい。



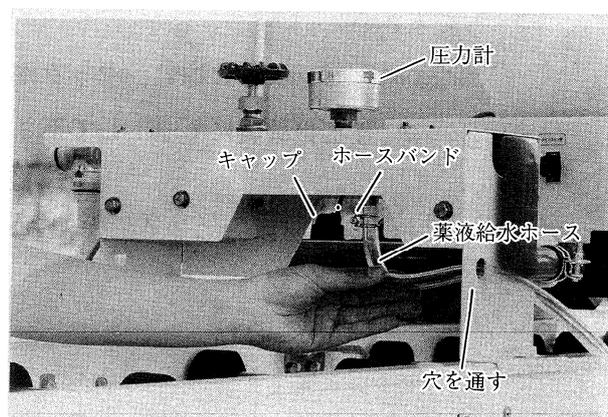
## 6・10 給水ホースの接続

- (1) 減圧弁から出ている左側のホースノズルに水道からのビニールホースを接続して下さい。
- (2) オーバーフローした水は、右側のホースノズルより出てきますのでビニールホースを接続し水受けの中へ入れて下さい。



## 6・11 薬液灌水を行う時

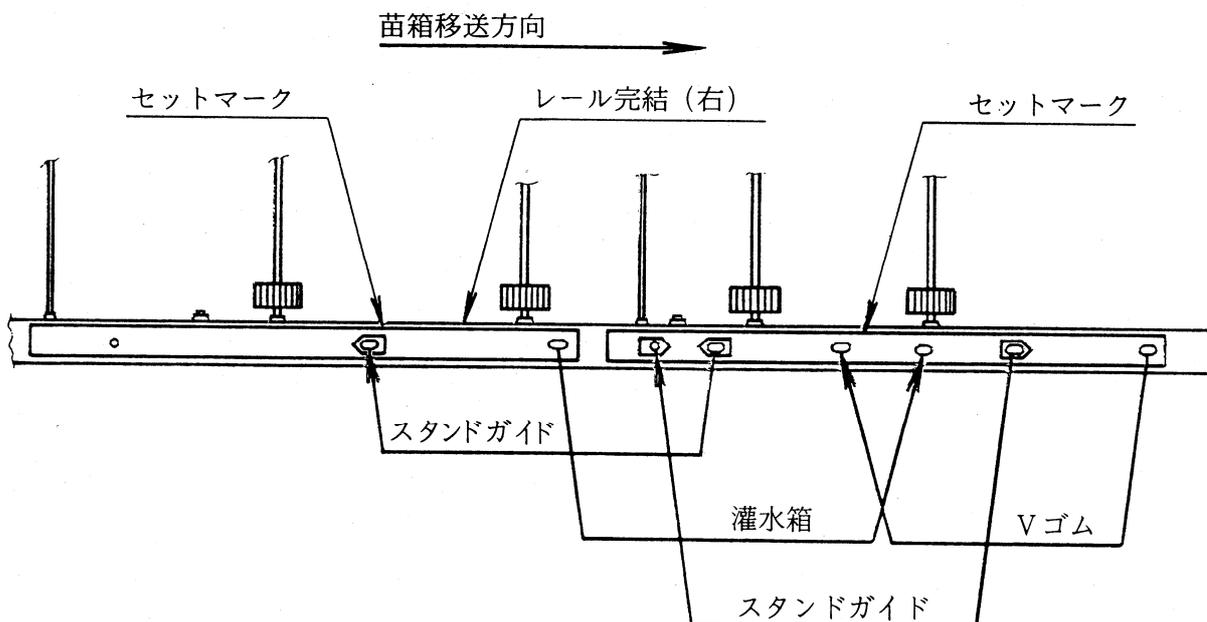
- (1) ホースノズルにかぶっているキャップを外して下さい。
- (2) ホースノズルに透明ビニールホース(φ9)を取り付けて下さい。
- (注意) 薬液灌水を行わない時は、必ずキャップをして下さい。



## 6・12 後灌水方式への組み換え

本機は、前灌水にて組付けられておりますが、後灌水で御使用される場合は図及び写真の様に組み換えて使用して下さい。

- (イ) セットマークの位置に合わせて、スタンドガイド、灌水箱、Vゴムを前灌水(赤文字の位置)から後灌水(黒文字の位置)へ組み換えて下さい。

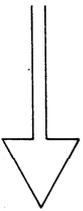
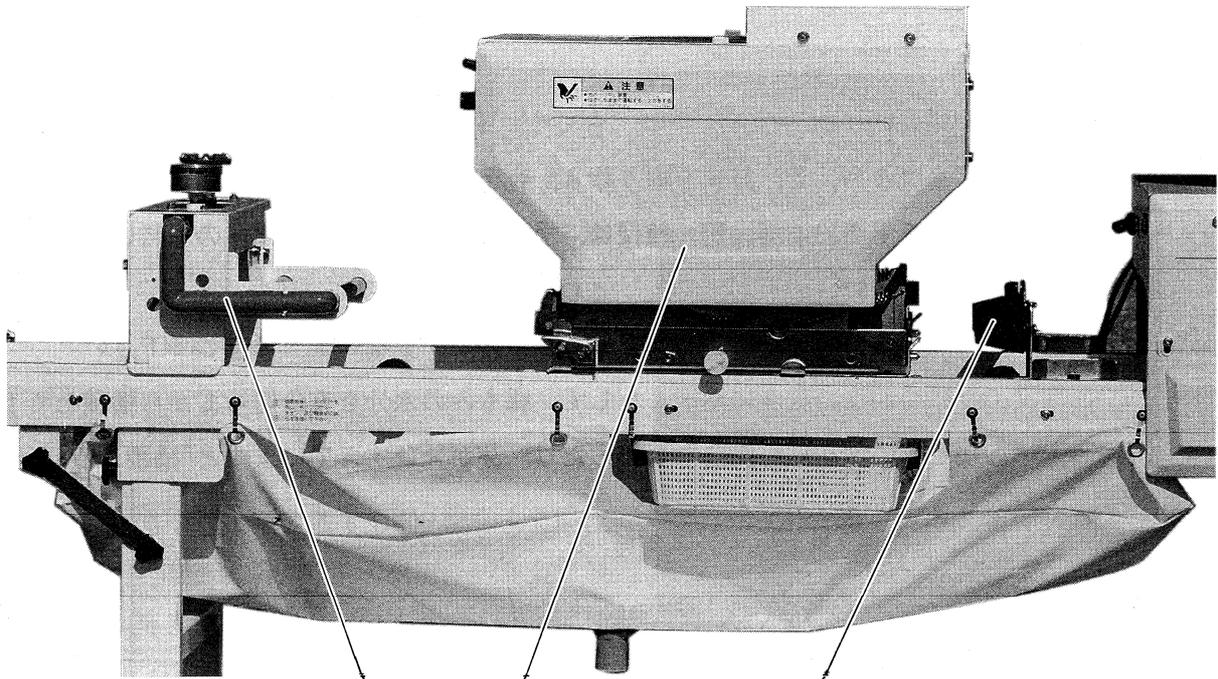


- (ロ) 糶受け吊り金具、糶受けカゴをスタンドガイドの下部に組付けて下さい。
- (ハ) 水受けは前灌水位置から反転して組付けて下さい。  
水受けフックの2ヶを後灌水写真のA点からB点へ移し換えて下さい。(反対側も同様)
- (ニ) 各部品が組付きましたら、前灌水、後灌水方式の写真を見比べ、間違いのない事を確認しながらビニールホース、播種ホッパーを取付けて下さい。

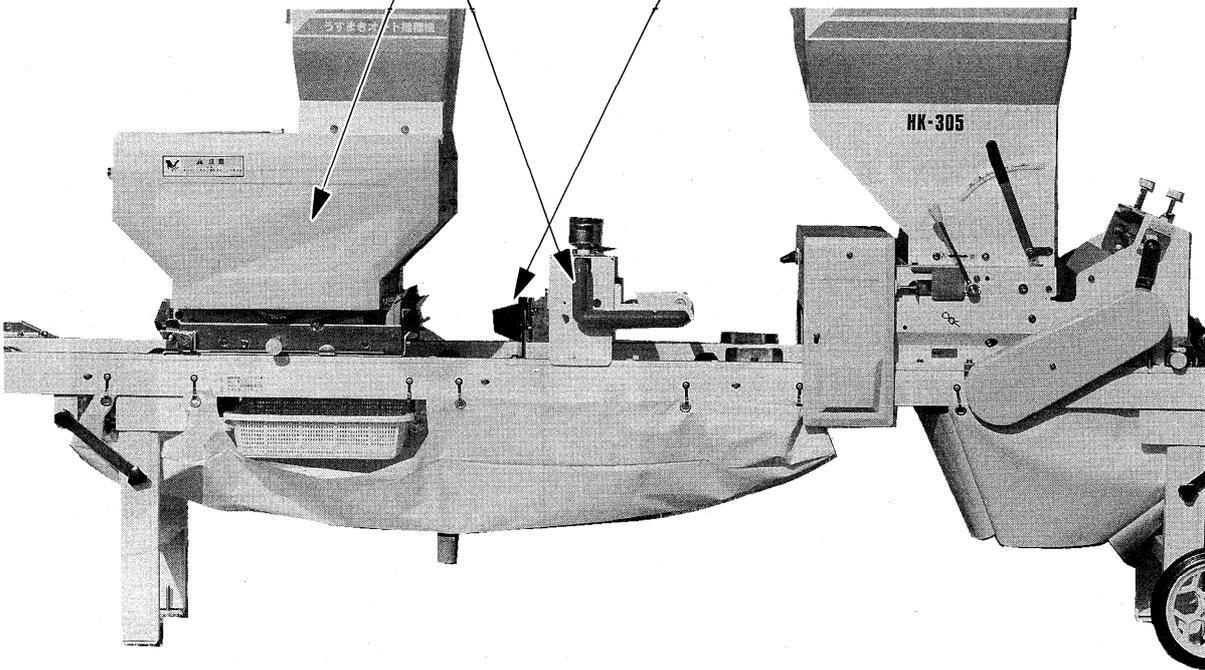
注) 播種ホッパーの組付は、本説明書(6・8)参照して下さい。

前灌水

苗箱移送方向



後灌水



# 7. 運転及び操作

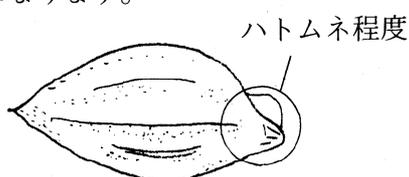
## 7・1 運転前の準備

### (1) 種もみの処理

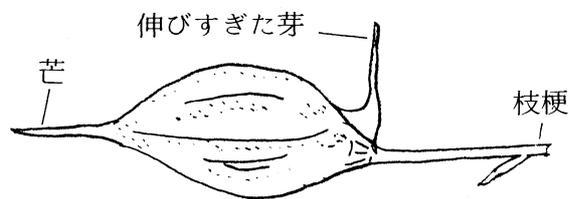
◦種もみは、ゴミや、芒、枝梗を取り除き、育苗に従って、塩水選、消毒、浸種、芽出し、を行って下さい。尚、芒、枝梗は、播種ムラの原因になりますので特に注意して取り除いて下さい。

◦種もみは「はとむね」位に芽出しをし、芽が伸びすぎないように注意して下さい。

又、手につかない程度に陰干しをして、種もみの水分を充分切ってから播種して下さい。種もみの水切りが完全でなかったり、芽が伸びすぎていますと「播種ムラ」の原因になります。



良い種もみ



悪い種もみ

### (2) 土の処理

◦覆土に使用する土は、よく乾燥し、4mm目のフルイを通した物を使用して下さい。

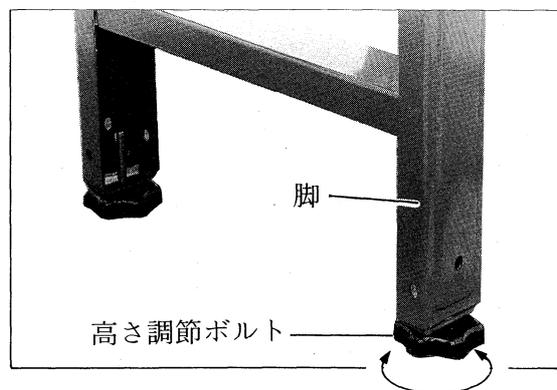
◦床土に使用する土は、5mm目のフルイを通した物を使用し、床土の水分は、片手でかき握って開いた時にかたまり、指でさわるとすぐ崩れる程度の物です。

◦水分の多い土は、ブリッジ（土がホッパーから出てこない事）の原因となりますので特に注意して下さい。

### (3) 本機の設置

平らな場所を選び全体が水平になるよう脚の高さ調節ボルトにて調節して下さい。

(注意) 設置が悪いと箱の片寄り、播種ムラ、灌水ムラの原因になる場合もありますので特に注意して下さい。



### (4) 育苗箱

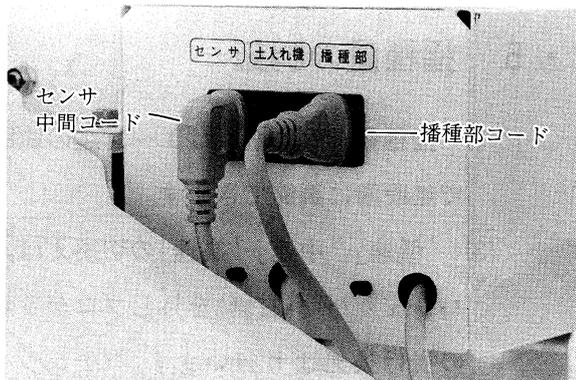
◦育苗箱は、できるだけ同じ種類の物で「ソリ」「ネジレ」のない箱を使用して下さい。

◦育苗箱の種類が同じ物でない場合は、箱の高さを基準に寄り分けて下さい。

(箱の高さが異なると本機の再調整が必要です。)

## 7・2 電 源

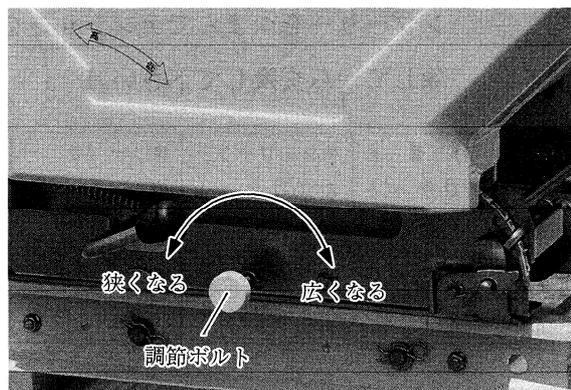
- (1) 播種ホッパーから出ているコードプラグを駆動部コンセントに差し込んで下さい。
- (2) 駆動部から出ているコードプラグを单相100Vの電源に差し込んで下さい。
- (3) メインスイッチを「ON」にし、各部のスイッチ及びクラッチを入れ、動きを確認して下さい。



## 7・3 箱ガイドの調節

播種ホッパー下部にある箱ガイドは、調節ネジにて育苗箱が中心にくる様調節して下さい。

- (注意) 育苗箱が引っ掛からない様、余裕 (3~5ミリ) をもって調節して下さい。

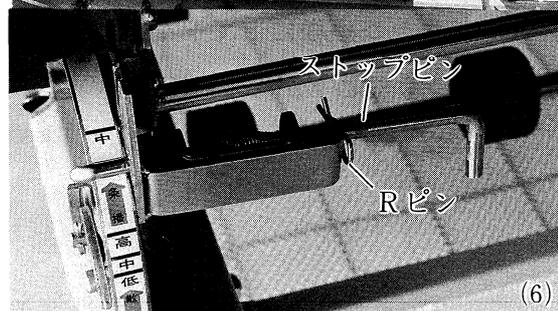
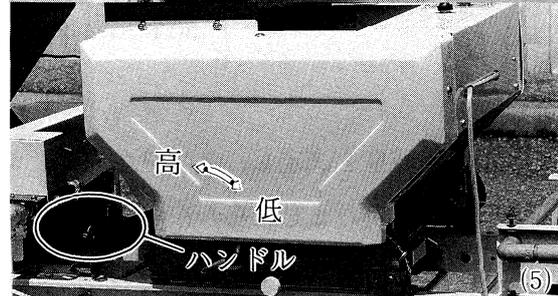


## 7・4 播種ホッパーの高さ調節

育苗箱の高さに応じてホッパーの高さを低、中、高、(33ミリ、38ミリ、43ミリ)の3段階に変えられる様になっております。

〈調節方法〉

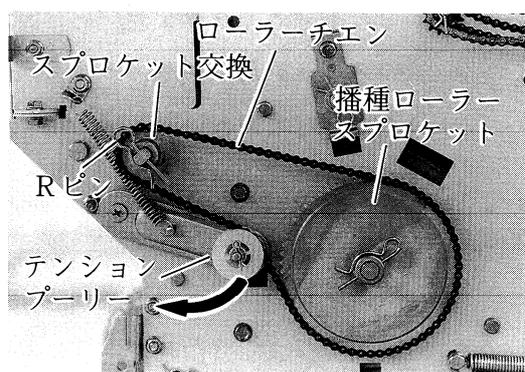
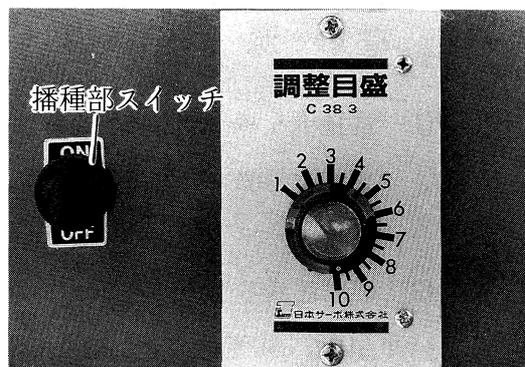
- ① ストップピンを矢印の方向へ引いてロックを解除します。
- ② ハンドルを低~高の方向に動かして、使用する箱の高さに合わせ、ストップピンをセットします。(写真4は条播33mmにセットした所です。)
- ③ セットをフリーにする場合は写真6の様ストップピンを引き、半回転してRピンを引っ掛けて下さい。(ハンドルは自由に動きます。)



## 7・5 播種量の調節

- (1) 播種量調整目盛りは1～10迄の範囲で無段階に調節できます。
- (2) 「低速」「中速」「高速」の切換えは、ハシュカバー(右側)を外しプロケットの掛け換えより行います。(テンションプーリーをつまんでテンションを解除してから交換して下さい。)

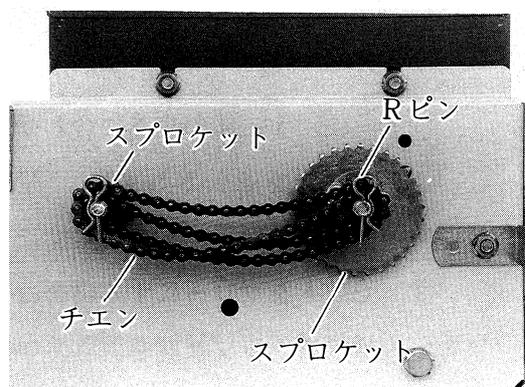
	掛 け 替 え スプロケット	ハシュローラー スプロケット	ロ ー ラ ー チ エ ン
低速	13T	60T	96リンク
中速	19T		
高速	30T		101リンク



- (3) 播種量の目安を下表に示しますが種もみの品種、催芽、水切りの状態により異なりますので実測してから御使用下さい。

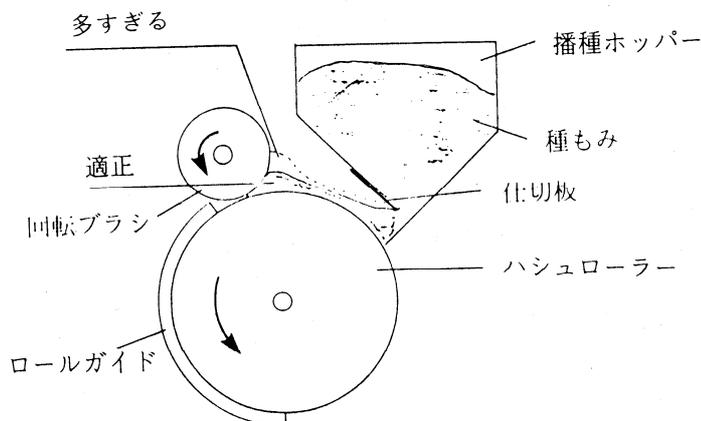
		調整目盛り				1目盛りの増減量
変速比		1	4	7	10	
低速	催芽 g	65	82	100	112	約 5 g
	13T 催芽 cc	100	125	150	170	約 8 cc
中速	催芽 g	95	120	145	165	約 8 g
	19T 催芽 cc	145	180	220	250	約12cc
高速	催芽 g	150	200	230	257	約12 g
	30T 催芽 cc	230	300	350	390	約18cc

- (4) 播種量を決定し、スプロケット、チェーンを掛けましたら、余ったスプロケットとチェーンは写真の様に収納して、紛失しない様にして下さい。(注. チェーンが垂れ下がって回転部へのカミコミなどない様にして下さい。)



## 7・6 播種作業

下図のように種もみがなるように仕切板にて調節して下さい。

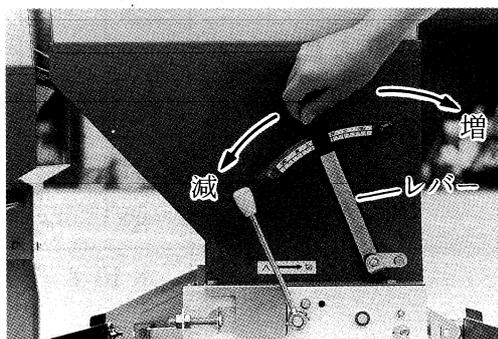


## 7・7 Vゴムの調節

育苗箱の上面にかかる程度に高さを調節して下さい。

## 7・8 覆土量の調節

- (1) 覆土量の調節はホッパーの側面にあるレバーで調節して下さい。
- (2) 粘質な土をさけ、乾いた土を使って種もみがかくれる程度に覆土します。



## 7・9 灌水量の調節

床土が必要とする灌水量は、床土の種類や乾燥状態により異なります。灌水量の調節が充分になされず、湿害や灌水不足を起こし出芽、生育に支障をきたすことのないよう特に次のことを注意して下さい。

### (1) 灌水量の決め方

#### ① 床土の水分状態

乾燥している土は多く灌水し、湿った土は少なく灌水します。必要以上に灌水すると湿害を生じたり、逆に灌水不足だと種もみの根上がり現象がおこります。

#### ② 箱の種類

木箱の場合は、箱自体が水分を吸収するので灌水量をやや多めにします。又、プラスチック箱は、水分が逃げにくいので少なめに灌水します。

(2) 真水灌水する場合

- ① 水道のコックを全開にして、下表を参照しながら、使用する水圧に灌水装置側のバルブで調節して下さい。

圧力計目盛り MPa	0.015	0.02	0.03	0.04	0.06	0.08	0.1	0.12
真水灌水量 ml/箱	(535)	615	735	850	1050	1205	1335	1475

- ② 育苗箱を1箱通し、床土入れ、均平、灌水して3分位たって水分がやや落ち着いてから水の浸透状態を確認して下さい。

## 7・10 薬液灌水の仕方

この灌水装置は、「リゾーブス菌」による苗立枯病の発生防止に使用するもので灌水と同時に薬剤散布ができるようになっています。

(1) 灌水量及び薬剤吸い込み量

圧力計目盛り MPa	0.02	0.03	0.04	*0.06	0.08	0.1	0.12
薬剤灌水量 ml/箱	640	785	900	1105	1280	1440	1575
薬剤吸い込み量 ml/箱	60	75	95	*125	145	165	185
薬剤散布 倍率	500倍	167	132	105	80	69	54
	800倍	104	82	65	*50	43	34
	1000倍	83	66	52	40	34	27
水 10 ℓ 当りの薬剤量 (g) を示す							

(2) 消毒液の作り方 (ダコニール, ダコレート)

☆薬液消毒の防除基準は、一般に500~1000倍液を1箱当り500ml散布(1~0.5g)となっています。

(各地域の育苗指針, 農業改良普及員の指導, 薬剤の説明書などに従って下さい。)

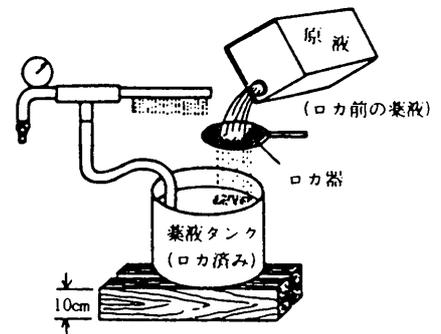
(例) 1箱当りの適正灌水量が1105mlで、800倍のダコニール消毒液を散布する場合

- ① バルブで水圧を0.06MPaにセットします。
- ② 1箱当りの薬剤吸い込み量は約125mlです。800倍で散布する場合、表を参照して10ℓ当り薬剤50g (a) の割合で調合して下さい。
- ③ 消毒液の必要量は、育苗箱枚数×薬剤吸込量です。100箱育苗する場合100箱×125ml = 12500ml = 12.5ℓ (b)  
12.5ℓ 消毒液が必要になります。

$$\text{必要薬剤量} = \frac{\text{(b) 必要消毒液量 (ℓ)}}{10 \ell} \times \text{(a) 10 ℓ 当りの薬剤量 (g)}$$

$$\frac{12.5 \ell}{10 \ell} \times 50 \text{ g} = 62.5 \text{ g} \text{ の薬剤が必要になります。}$$

- (注意) ① ダコニール, ダコレートとタチガレンの同時使用,  
近接処理は薬害を生じるおそれがありますのでさ  
けて下さい。
- ② 薬液タンクは地上より10cm位上げて下さい。
- ③ 薬剤が沈んでしまわないようときどき攪拌して下  
さい。
- ④ 吸い込み用ビニールホースの先端に付いているフ  
ィルターが詰まると薬剤吸い込み量が減少します。  
ときどき確認し詰まったら掃除して下さい。
- ⑤ 水和剤を使用する時は, 原液をロカ器に通します  
と, 目詰まりが無く正確な散布が出来ます。



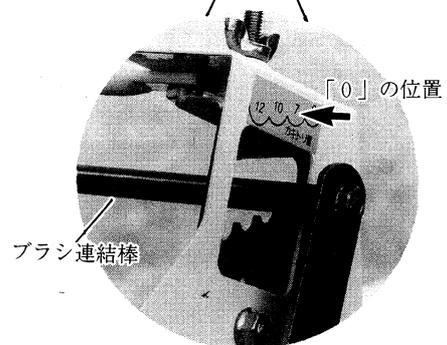
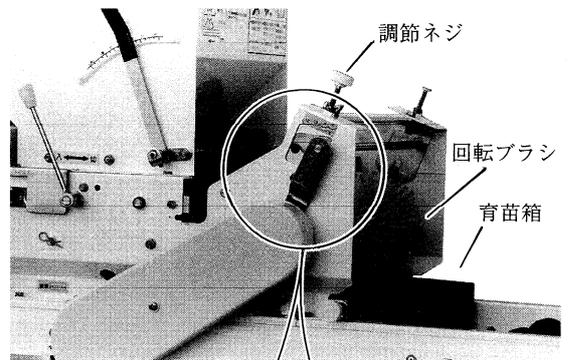
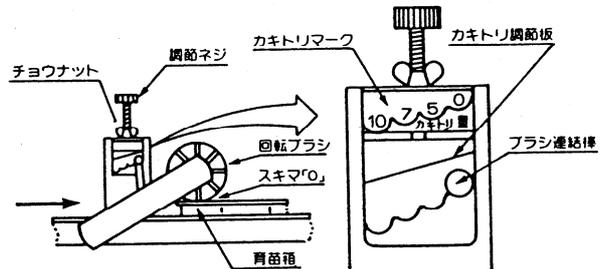
# 8. 土入れ作業

HK-305は、覆土ホッパーにて床土入れもできる様になっております。床土量の調節は覆土の場合と同じ要領で行って下さい。

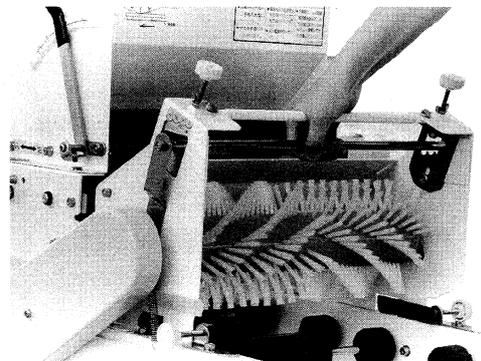
## 8・1 回転ブラシの調節

回転ブラシの調節は育苗箱の種類により箱の高さが異なりますので御使用する箱に合わせて下さい。

- (1) ブラシ連結棒がカキトリ調節板の「0」の位置にある事を確認して下さい。
- (2) 育苗箱の上面と回転ブラシのスキマを「0」になる様調節ネジで調節して下さい。(調節ネジ1回転で回転ブラシが「2ミリ」下がります。)



- (3) 写真の様に中央を握る感じでブラシ連結棒を移動して望みのカキトリ量に合わせて下さい。



## 8・2 スミ取り装置の調節

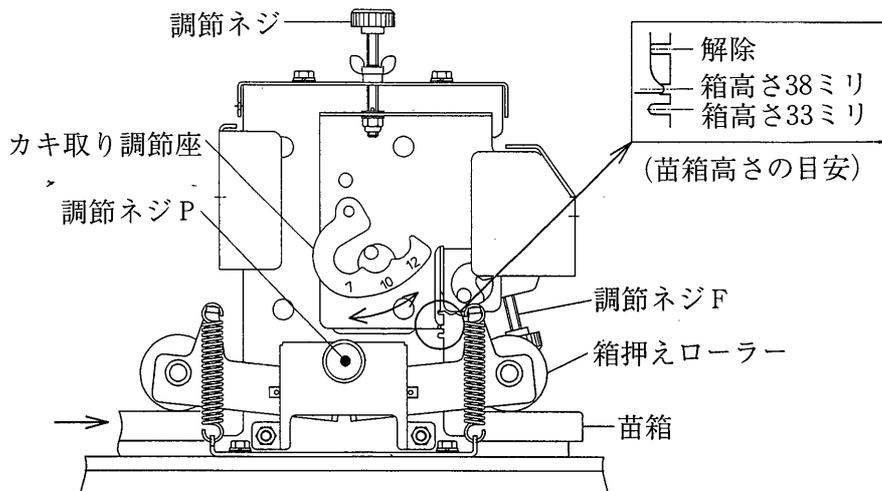
このスミ取り装置は、前後の隅をとる装置です。

出荷時の条件設定として、苗箱38ミリ、カキ取り10ミリとなっております。この条件を変更して作業する場合は、以下の要領で調節し直して下さい。

尚、必ずスミ押し板（後）の調節をした後にスミ押し（前）の調節をして下さい。

### (1) 箱押えローラーの調節

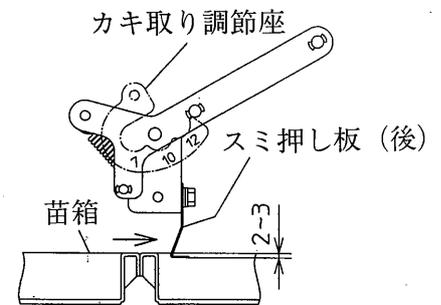
苗箱を抜いた時、押さえローラーが1～2ミリ下がる様に両サイドの調節ネジPで調節します。



### (2) スミ押し板（後）の調節

イ) 苗箱の上面より2～3ミリ下げた所にスミ押し板（後）が位置するように、上面にある調節ネジで合わせます。

ロ) カキ取り量の調節は、カキ取り調節座をスライドして行います。 (7, 10, 12ミリ)

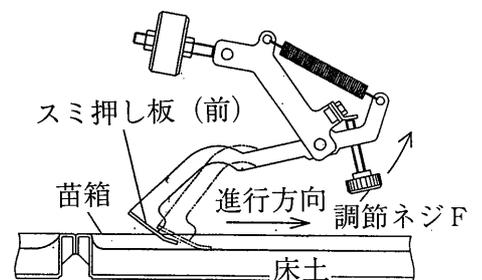


### (3) スミ押し板（前）の調節

イ) カキ取り量の調節のみ行います。

ロ) 調節ネジFをつまんで上方へ持ち上げてカキ取った土の上面にスミ押し板（前）が触るように調節ネジFで調節します。

ハ) 手を離すとスミ押し板（前）が元に戻りカキ取った土の上面より約3ミリ上がった所で待機します。



(注意) スミ押し板（前）が待機の時、床土の上面に接触しないよう注意して下さい。

# 9. 手入れ及び保管上の注意

## 9・1 手入れ

播種作業が終わって長時間使用しない場合は、次の点に注意して下さい。

### (1) 灌水装置

- ① 薬液灌水を行った時は、必ず真水を吸いこませ内部を良く洗浄して下さい。
- ② 灌水ノズルは、ノズルブラシで掃除をし、水を勢いよく出してパイプ内をきれいにしてからゴム栓をして下さい。
- ③ 冬期凍結のおそれがないよう水を完全に抜いて下さい。特に吸込ノズル内の水は抜きもれのない様に注意して下さい。ホースノズル内のステンレス球を下から押し上げれば、吸込ノズル内の水は抜けます。

### (2) 残量種粒

播種作業終了時は、ホッパー内種粒が全部無くなる迄ローラーを回し種子がロールガイド内に残らない様にして下さい（ロールガイドが破損する恐れがあります）。

### (3) 水洗い

- ① 水洗いをする場合は、電源プラグをコンセントから外し、モータ及びスイッチへの放水はしないよう注意して下さい。
- ② 播種部回転ブラシは、水洗いしないで下さい。

汚れ、変形により水洗いをしたときは、回転ブラシの毛をすいて、外周方向に毛を直立させた状態で水切りをして、そのまま乾燥させて下さい。

(毛が垂れ、変形の状態ででは使用できません。)

### (4) 給油

洗浄後、よく乾かし、**回転部**(搬送コンベアー軸受部、播種ホッパー軸受部、覆土ホッパー軸受部)、**ローラーチェーン**(搬送コンベアー部、播種ホッパー部)などへ**必ず給油**して下さい。

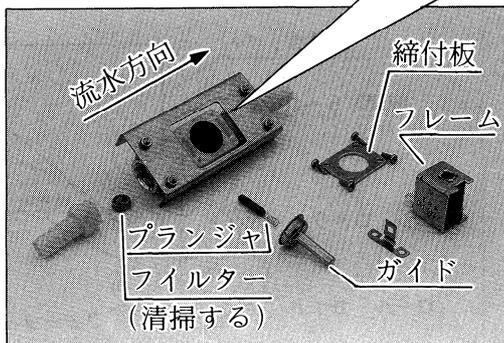
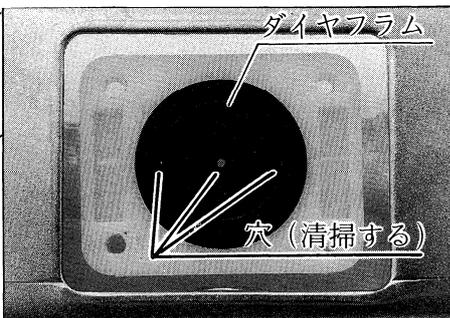
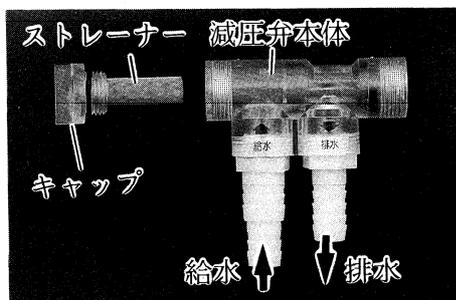
## 9・2 保管上の注意

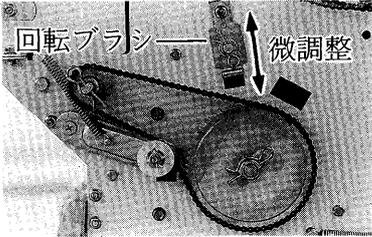
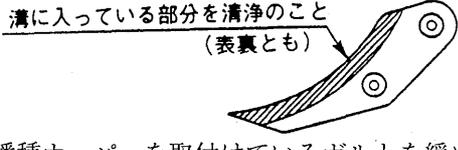
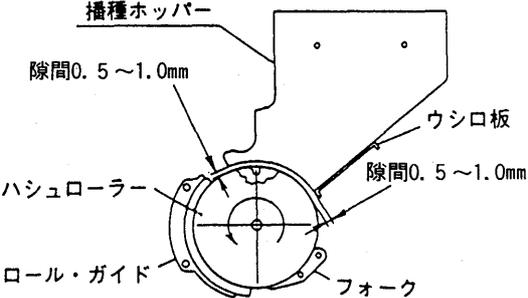
- (1) 覆土部のクラッチは「切」の状態にして下さい。
- (2) Vベルトは、緩めた状態にしてから保管して下さい。ベルトの伸びやくせを防止することができます。
- (3) 本機の格納は、ゴムローラーを使用していますので直射日光を避けて下さい。

# 10. 故障の診断と処置

使用中、下表の様なトラブルが発生した場合は、表に基づいて適切な処置をして下さい。

現象	原因	処置
モ動 し か た な い が	(1) 電源のコードの入れ忘れ (2) メインスイッチが「ON」になっていない。 (3) センサコードの接続が適切でない。	◦ 家庭用 A C 100 V に接続する。 ◦ スイッチを「ON」にする。 ◦ 取説 9 頁 6 ・ 4 センサコードの接続参照。
水 の 出 が 悪 い ・ 水 が 出 な い	(1) メインスイッチとカンスイスイッチが「ON」になっていない。 (2) 水道の蛇口が開かれていないか、水道ホースが曲がっている。 (3) 灌水ノズルが詰まっている。 (4) 減圧弁内のストレーナーが目詰まり。 (5) ウォーターバルブが目詰まり。 ① フィルターの目詰まり。 ② ダイヤフラムの目詰まり。	◦ メインスイッチを「ON」にしてから、カンスイスイッチを「ON」にする。 ◦ 水道の蛇口を開き水道ホースの曲がりを直す。 ◦ 同梱のノズルブラシで清掃する。 ◦ キャップを外し、中にあるストレーナーを清掃する。 A. 減圧弁を外し、フィルター(金網)を引き出し、清掃する。 B. 「A」の処置をして、メイン、カンスイ、スイッチを「ON」にしたとき、ウォーターバルブは「ピー」と音がするのに水が出ない場合は、ウォーターバルブを分解してダイヤフラムの3つの穴(矢印部)を清掃する。



現象	原因	処置
ノ空 ズ気 ルが の入 中 るに	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬液吸込口のホースノズルにキャップがされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャップをする、又割れている場合は新品と交換する。</li> </ul>
薬液吸 が い 吸 込 み 上 量 が 少 な い	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)薬液タンクが低い位置にあって吸い上げることが出来ない。</li> <li>(2)吸い込み用ホースノズル内部のステンレスボールが薬剤で密着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬液タンクを地上より10cm位上げる。 (19頁7・10(2))を参照)</li> <li>ハリギネ、クギ等でホースノズルの下より突き上げて、ステンレスボールが軽く動くことを確認する。</li> </ul>
播 種 ム ラ に な る	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 回転ブラシの手前に種もみがない。</li> <li>(2) 種もみの処理が適切でない。</li> <li>(3) 播種部回転ブラシの平行が出ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取説17頁7・6播種作業を参照。</li> <li>14頁7・1-(1)種もみの処理を参照。</li> <li>(回転ブラシと播種ローラーの間は、0～0.3ミリにセットする。)</li> </ul> 
ハ シ ユ ロ ー ラ ー の 動 き が 悪 い (動 か な い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ロールガイドとハシュローラーの間に残量種籾が有ってロールガイドに食い込んでいる。</li> <li>(2)フォークとハシュローラーの溝の間に土又はゴミ等が付着して滑りが悪くなっている。</li> <li>(3)①播種ホッパー、ウシロ板とハシュローラーが接触している。 ②播種ホッパーとハシュローラーの隙間が約1.5mm以上あって種籾が挟み込まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールガイドを外し両方とも清浄する。</li> <li>ロールガイドが破損している場合は交換する。</li> <li>フォークを外し、フォーク部及びハシュローラーの溝部の付着物を取除く。(組付の際、フォークがハシュローラーに接触しないこと)</li> <li>溝に入っている部分を清浄のこと (表裏とも)</li> <li>播種ホッパーを取付けているボルトを緩めて隙間が約0.5～1.0mmになるように再調整する。</li> </ul>  



実り豊かな明日をひらく

# 株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3

代表/TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592

URL.<http://www.suzutec.co.jp>

# レール部パーツリスト

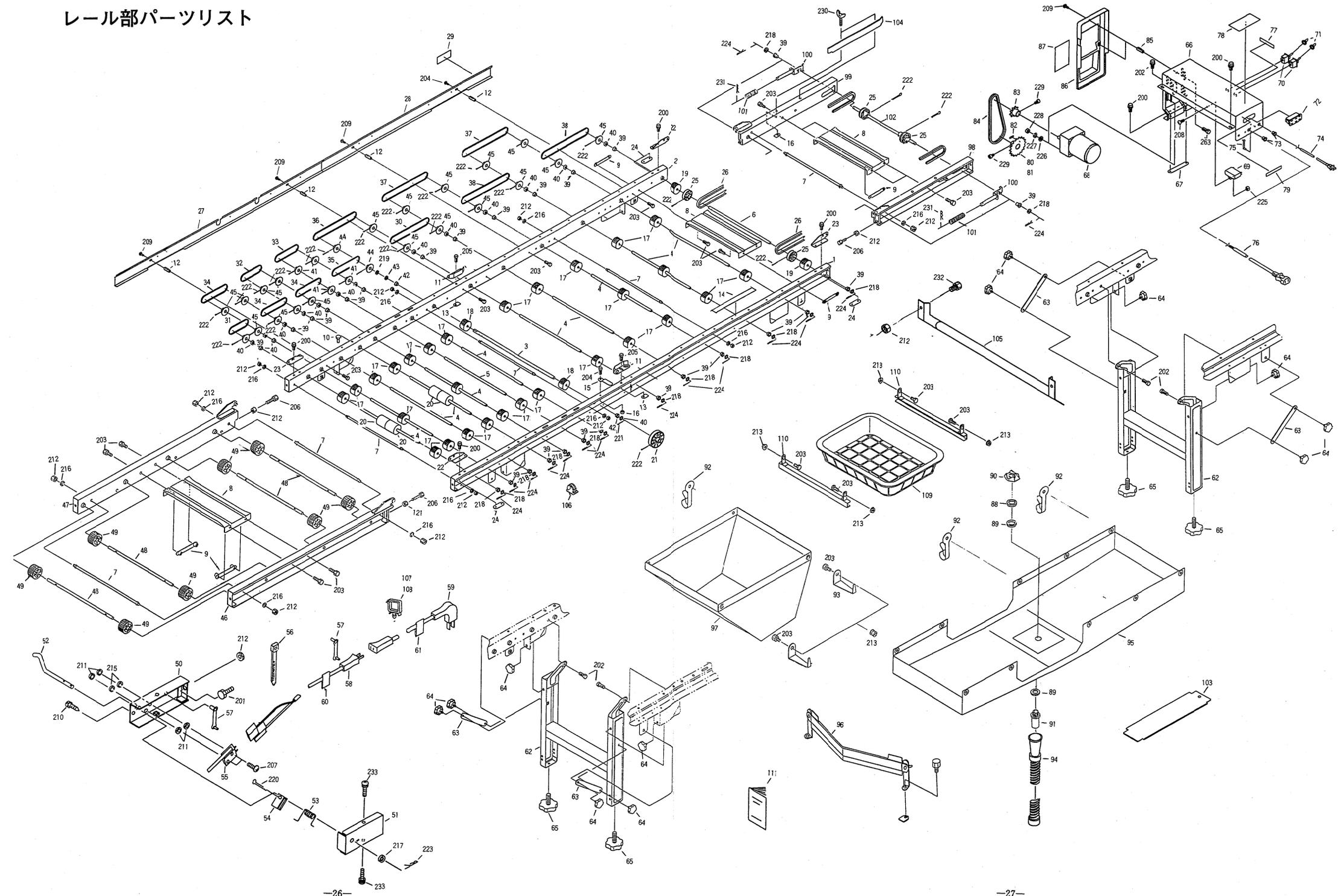


図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
1	20050-11070	レール完結 (L)	1		
2	20050-11080	レール完結 (R)	1		
3	20035-41200	主駆動シャフト	1		φ11.95×475
4	20035-41220	シャフト (B)	11		φ10×361
5	20048-42040	ベルト (回転プアジ)	3		φ10×391
6	20048-41340	ベルト駆動シャフト	3		φ10×361
7	20013-41101	レールストッパホルト	6		
8	20013-31102	レール補助枠	3		
9	20013-41103	オビナット	6		
10	20030-41116	ヒラキヤップ (φ7)	5		
11	20030-41119	ガイド板	2		
12	20033-41170	支柱 (B)	4		
13	20033-41030	マリア止メナット (M18)	2		
14	20050-31490	ゼットマーク	1		
15	20033-41360	レール押工板	1		
16	20033-41020	マリア止メナット (M6)	3		
17	20004-409	搬送ゴムローラー	28		
18	20208-41241	搬送ゴムローラー (B)	2		
19	20034-41010	ゴムローラー	2		
20	20048-42080	ゴムローラー (S)	4		
21	20000-31060	φ75Vプーリー	1		φ12用
22	20041-41162	折りたたみ金具 (A)	2		
23	20041-41170	折りたたみ金具 (B)	2		
24	20050-41020	オビナット	4		
25	20000-41130	φ46Vプーリー	2		M49
26	03510-00040	ベベル	4		
27	20048-31690	レールカバ (B)	1		
28	20050-31430	レールカバ (A)	1		
29	20000-41350	注油マーク	1		
30	03003-41038	ローラーチェン	1		#410, 軸径φ10
31	03003-41020	ローラーチェン	1		#410, 20ℓ
32	03003-41022	ローラーチェン	1		#410, 22ℓ
33	03003-41024	ローラーチェン	1		#410, 24ℓ
34	03003-41026	ローラーチェン	3		#410, 26ℓ
35	03003-41028	ローラーチェン	1		#410, 28ℓ
36	03003-41042	ローラーチェン	1		#410, 42ℓ
37	03003-41044	ローラーチェン	2		#410, 44ℓ
38	03003-41046	ローラーチェン	2		#410, 46ℓ
39	20005-411	オイルレスベアリング	28		10×13
40	20005-419	丸軸	14		
41	20000-41140	スプロケット (8T)	5		
42	20021-41117	オイルレス軸受 (B)	2		
43	20035-41090	スプーラー	2		
44	20000-41150	スプロケット (8T)	2		
45	20000-41430	スプロケット (8T)	20		#410, 軸径φ12
46	20048-31490	補助レール (左)	1		#410, 軸径φ10
47	20048-31500	補助レール (右)	1		
48	20013-41111	駆動ローラーシャフト	4		
49	20013-41112	駆動ローラー	8		
50	20041-31670	アーム完結 (L)	1		

図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
51	20041-31680	カバ (左)	1		
52	20041-41350	センサ (左)	1		
53	20041-41360	センサ (右)	1		
54	20033-41590	U板	1		
55	20033-41600	マイクロスイッチ	1		
56	00980-41200	フックマウントタイ	1		
57	20033-41200	コードクラフ	7		
58	00980-41111	センサコード	1		ℓ=950
59	00980-41120	中間コード	1		ℓ=1200
60	20041-41410	センサ接続マーク	1		
61	20041-41420	コード接続マーク	1		
62	20048-31660	軸完結	2		
63	20048-42130	胸ステー	4		
64	20000-42520	ノブボルト	12		M6×10
65	20041-31200	高平鋼ボルト	4		M8×46
66	20048-21230	ネジナット	1		
67	20013-41010	オビナット	1		
68	20050-31430	ギョーネット	1		40W, 1/36
69	20113-41150	ギョーネット	1		10μF
70	20030-46119	スナプアスライチ	1		
71	20030-46120	ゴムキヤップ	2		
72	29202-31050	ACソケット	2		
73	20208-48411	コードプッシュ	2		
74	00980-41370	電線コード (Q)	1		
75	20033-41400	コードクラフ	2		
76	00980-41610	電線コード (モーター)	1		
77	20050-41520	スライチマーク	1		
78	29202-31060	接続マーク	1		
79	20050-41530	スプロケット (17T)	1		φ12 (50Hz)
80	20000-41580	スプロケット (17T)	1		φ12 (60Hz)
81	20000-41160	スプロケット (20T)	1		
82	20000-41770	表示ラベル (60Hz用)	1		
83	20208-43214	モータースプロケット (9T)	1		
84	03003-41036	ローラーチェン	1		φ12, キ-
85	20035-41160	支柱 (A)	2		#410, 36ℓ
86	20035-21042	モーターカバー	1		ℓ=30
87	20035-41470	注油マーク	1		
88	20030-47119	フック	2		
89	20030-47120	フック	2		
90	20030-41050	ナット	1		20×3/4
91	66252-52034	バルブソケット	1		
92	20000-42690	フック (RV)	8		
93	20050-41400	水受金具	7		
94	20030-47125	排水ホース	1		
95	20050-31440	水受シート (305)	1		
96	20048-30190	Vゴム Assy	1		
97	20048-31710	土ウケシシ	1		
98	20050-31450	補助レール P (L)	1		
99	20050-31460	補助レール P (R)	1		
100	20041-41150	ベルト張り金具	2		

図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
101	00831-40019	圧縮バネ	2		
102	20048-41350	ベルト駆動シャフト	1		φ10×340
103	20000-41810	土ナラシ板	1		
104	20112-31111	片寄り防止板	1		
105	20050-31480	把手	2		
106	20000-42530	Nクランプ	1		
107	20000-42500	ロッキングワイヤサドル (小)	5		
108	20000-42510	ロッキングワイヤサドル (大)	1		
109	20041-31100	搬送マガジン	1		
110	20042-41080	モミ受け吊り金具	2		
111	20050-41681	取扱説明書	1		

図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
200	20000-41730	パネ組込六角ボルト	8		M6×12
201	20000-41750	パネ組込六角ボルト	1		M8×16
202	20000-41780	パネ組込六角ボルト	4		M6×12
203	01000-00610	六角ボルト	15		M6×10
204	01000-00612	六角ボルト	7		M6×12
205	01000-00812	六角ボルト	4		M8×12
206	01000-00825	六角ボルト	2		M8×25
207	01110-00320	十字穴付ナベ小ネジ	2		M3×20
208	01110-00406	十字穴付ナベ小ネジ	2		M4×6
209	01113-00308	十字穴付タッピンネジ	4		M6×10
210	01200-00303	六角ナット	1		M3×8
211	01200-00807	六角ナット	4		M3
212	01200-00807	六角ナット	15		M8
213	01250-00606	陸金付ナット	7		M6
214	01290-90600	チヨウナナット	2		M6
215	01400-00307	パネ平ガネ	2		M3
216	01400-00820	パネ平ガネ	10		M8
217	01420-00608	ピラ平ガネ	1		M6
218	01420-01016	ピラ平ガネ	13		M10
219	01420-01223	ピラ平ガネ	1		M12
220	01500-02515	鋼ピン	1		2.5×15
221	01500-03020	鋼ピン	1		3×20
222	01500-03025	鋼ピン	29		3×25
223	01501-00510	Rピン	1		φ5
224	01501-00918	Rピン	13		φ9
225	01200-00403	六角ナット	1		M4
226	01421-00610	ピラ平ガネ	8		M6
227	01400-00615	ピラ平ガネ	4		M6
228	01200-00605	六角ナット	2		M6
229	01010-10612	六角穴付ボルト	2		M6×12
230	01020-90610	チヨウボルト	2		M6×10
231	01501-00818	Rピン	2		φ8
232	20000-41760	パネ組込六角ボルト	2		M8×14
233	01113-00406	十字穴付タッピンネジ	2		M4×6

# ホッパー部パーツリスト

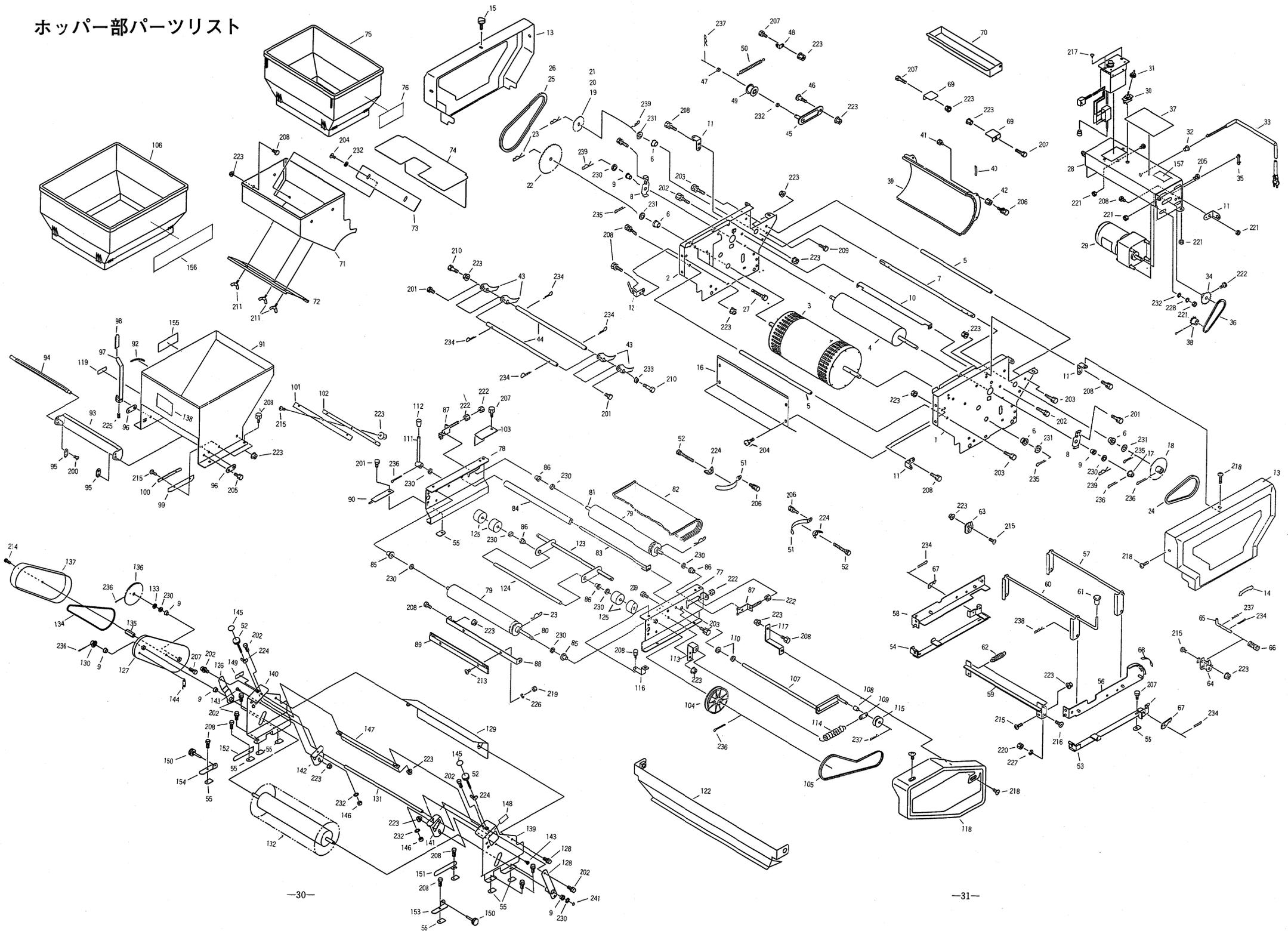




図 No	コ ー ド	名 称	個 数	備 考
200	20000-42170	ハネ平組込十字穴付ナベ小ネジ	2	M4×8
201	20000-41780	ハネ平組込六角ボルト	4	M6×12
202	20000-41730	ハネ平組込六角ボルト	10	M6×12
203	20000-41760	ハネ平組込六角ボルト	4	M8×14
204	20000-41490	ハネ平組込ナベ小ネジ	4	M6×12
205	20000-42010	ハネ平組込六角ボルト	4	M6×12
206	20000-41740	ハネ平組込六角ボルト	2	M6×10
207	01000-00610	六角ボルト	6	M6×10
208	01000-00612	六角ボルト	24	M6×12
209	01000-00616	六角ボルト	1	M6×16
210	01000-00625	六角ボルト	2	M6×25
211	01020-90610	六角ボルト	3	M6×10
212	01110-00412	十字穴付ナベ小ネジ	1	M4×12
213	01110-00416	十字穴付ナベ小ネジ	2	M4×16
214	01110-00612	十字穴付ナベ小ネジ	1	M6×10
215	01110-00612	十字穴付ナベ小ネジ	13	M6×12
216	01111-00510	十字穴付ナベ小ネジ	2	M5×10
217	01113-00406	十字穴付ナベ小ネジ	2	M4×6
218	01114-00612	十字穴付ナベ小ネジ	4	M6×12
219	01200-00403	六角ナット	3	M4
220	01200-00504	六角ナット	2	M5
221	01200-00605	六角ナット	8	M6
222	01200-00807	六角ナット	6	M8
223	01250-00606	雌金付ナット	36	M6
224	01290-90600	ナット	4	M6
225	01360-00612	六角穴付止メネジ	2	M6×12
226	01400-00410	ハネ雌金	2	M4
227	01400-00510	ハネ雌金	2	M5
228	01400-00615	ハネ雌金	4	M6
229	01420-00608	ピラサガネ	1	M6
230	01420-01016	ピラサガネ	14	M10
231	01420-01223	ピラサガネ	4	M12
232	01421-00610	ピラサガネ	10	M6
233	01500-02012	割ビシ	1	φ2×12
234	01500-02515	割ビシ	4	φ2.5×15
235	01500-03020	割ビシ	4	φ3×20
236	01500-03025	割ビシ	8	φ3×25
237	01501-00510	Rピシ	1	φ5用
238	01501-00818	Rピシ	8	φ8用
239	01501-00918	Rピシ	2	φ9用
240	01501-01223	Rピシ	1	φ12用
241	02100-01010	C型止メ輪	1	φ10軸用

(灌水・スミトリ部)

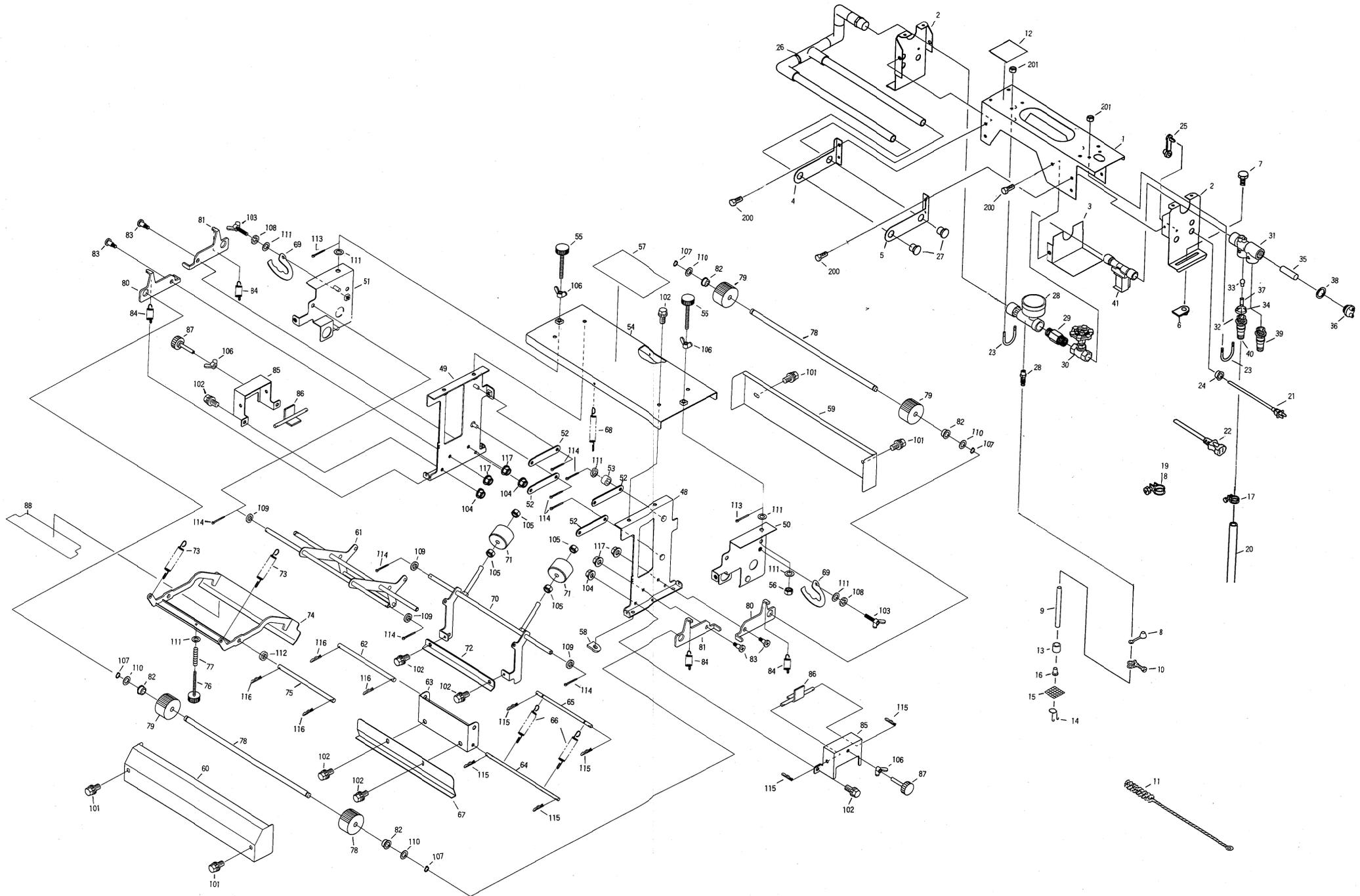


図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
1	20048-21220	カンスイ天板	1		
2	20048-31670	カンスイ側板	2		
3	20048-42090	カバー	1		
4	20050-41650	アーム (K-30) R	1		
5	20050-41660	アーム (K-30) L	1		
6	20033-41020	マワリ止メナットM6	2		M6×10
7	20030-41910	化粧本ジヤ	2		φ9×12×2000
8	20041-41270	ピンキャップ	1		φ12
9	06500-00920	ビスハンズ	1		
10	06710-11200	ビスハンズ	1		
11	20000-31070	スズメビス	1		
12	20050-41671	隠木メソバシ	1		
13	20050-41150	クワイヤ	1		
14	20050-41160	クワイヤ	1		
15	20041-41240	フタ	1		
16	20041-41680	フタ	1		
17	06710-11900	ホースバンド	1		φ19
18	06710-12500	ホースバンド	1		φ25
19	06710-12000	ホースバンド	1		φ20
20	06600-01550	ビニールホース	1		φ15×φ18×500
21	00980-41630	電源コード (カンスイ)	1		
22	00980-41620	電源コード (V)	1		
23	29202-41030	Uボルト	2		
24	20225-41330	コードフック	1		
25	20033-41400	コードフック	1		
26	20050-31470	遮水ノズル	1		
27	20208-45316	ゴム垫	2		
28	20050-80030	吸込ノズル仕組	1		R.25 N
29	20048-42100	六角ナット	1		1/2
30	20041-41250	クローブバルブ	1		1/2
31	20041-31370	鋼圧弁本体	1		
32	20041-41460	ハネ受け	1		
33	20041-41470	ゴムホール	1		
34	20041-41480	パッキン	1		
35	20041-41490	ストレーナー	1		
36	20041-41500	キャップ	1		
37	00931-40020	圧縮バネ	1		
38	04100-42124	Oリング	1		
39	20000-41680	ホースノズル (A)	1		
40	20000-41850	段付ホースノズル	1		
41	29202-41170	ウォータースパルブ	1		
42					
43					
44					
45	01280-00504	六角袋ナット	4		M5
46	20000-41780	ハネ平駆金組込六角ボルト	6		M6×12
47	29224-31152	サイドスタック (L)	1		
48	29224-31162	サイドスタック (R)	1		
49	29224-21060	高寸調節板 (L)	1		
50					

図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
101	20000-41740	ハネ組込六角ボルト	4		M6×10
102	20000-41780	ハネ平駆金組込六角ボルト	16		M6×12
103	01020-90610	チョウボボルト	2		M6×10
104	01200-00605	六角ナット	4		M6
105	01200-00807	六角ナット	4		M8
106	01290-90600	チョウボナット	4		M6
107	02100-01010	C型止メ軸	4		軸用10
108	01400-00615	ハラサガネ	2		M6
109	01420-00812	ハラサガネ	4		M8
110	01420-01016	ハラサガネ	4		M10
111	01421-00610	ハラサガネ	12		M6
112	01421-00816	ハラサガネ	2		M8
113	01500-02015	割ピン	2		2×15
114	01500-02515	割ピン	8		2.5×15
115	01501-00510	Rピン	8		φ5
116	01501-00818	Rピン	4		φ8
117	01250-00606	緩急付ナット	4		M6
118	01000-00610	六角ボルト	2		M6×10
119	01020-90620	チョウボボルト	2		M6×20
120					
121					
122					
123					
124					
125					
126					
127					
128					
129					
130					
131					
132					
133					
134					
135					
136					
137					
138					
139					
140					
141					
142					
143					
144					
145					
146					
147					
148					
149					
150					

図 No	コード	名称	個数		備考
			HK-305		
51	29224-21070	高寸調節板 (R)	1		
52	29224-41560	カラシプレート	4		
53	20304-41230	カラシプレート	8		L=3
54	29224-31190	高寸リバース	1		
55	29224-41580	調節ネジ	2		M6×60
56	20133-41220	ロックナット	4		M6
57	29224-31201	取扱ラベル	1		M6
58	20033-41020	マワリ止メナット	4		
59	29224-31260	カバー (前)	1		
60	29224-31270	カバー (後)	1		
61	29224-31171	スミトリアーム (後)	1		
62	29224-41520	ピン (φ8×157)	1		
63	29224-41481	バネカケピン (後)	1		
64	29224-41500	バネカケピン B	1		
65	29224-41511	バネカケピン C	1		
66	00930-40048	引腫バネ	2		
67	29224-41460	引腫バネ (後)	1		
68	00930-40049	引腫バネ	1		
69	29224-41640	カキトリ調節板	2		
70	29224-31240	カキトリアーム (前 A)	2		
71	29224-41650	ウエイト	2		
72	29224-41660	ストッパ-連結金具	1		
73	20108-44120	スプリング	2		
74	29224-31250	スミトリアーム (前 B)	1		
75	29224-41670	スミトリアームピン (前)	1		M6×40
76	20113-41170	調節ネジ	1		
77	00931-40008	圧縮バネ	1		
78	29224-41550	ローラーシャフト	2		
79	20004-409	搬送ゴムローラー	4		
80	29224-41531	ローラーアーム (L)	2		
81	29224-41541	ローラーアーム (R)	2		
82	20208-41303	オイルレス軸受	2		
83	20030-45128	段付ネジ (B)	4		10×15
84	00930-40038	引腫バネ	4		
85	29224-31141	調節ネジラケット	4		
86	29224-41441	調節アングル	2		
87	20000-42540	調節ボルト	2		M6×30
88	29224-41680	テーブ	1		
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

# パーツリスト